

食品安全委員会の運営について（令和2年4月～令和2年6月）

1. 食品安全委員会の開催

4月：第779回・第780回（2回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（1品目）

動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏伝染性ファブリキウス嚢病・マレック病（鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス由来VP2遺伝子導入七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（バキシテックHVT+IBD）
-------------	--

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（1品目）

農薬（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ミクロブタニル <p><u>ADIを0.024 mg/kg 体重/日、一般の集団に対するARfDを2.4 mg/kg 体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.31 mg/kg 体重と設定。</u></p>
---------	---

（3）その他

- ・「テレビ会議又はWeb会議システムを利用した食品安全委員会等への出席について」を決定。

5月：第781回（1回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（2案件、8品目）

プリオン（1品目）	・「ドイツ・フィンランドから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓について」
遺伝子組換え食品等（5品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・JPTR003株を利用して生産されたムラミダーゼ ・ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-00X17-5（飼料） ・ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-00X17-5（食品） ・JPAN003株を利用して生産されたグルコアミラーゼ ・JPAN007株を利用して生産されたヘミセルラーゼ
飼料添加物（1品目）	・サリノマイシンナトリウムの基準及び規格の改正について
薬剤耐性菌（1品目）	・安息香酸ビコザマイシン（動物用医薬品）に係る評価要請の取下げ
その他（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病予防法施行令及び同法施行規則の一部改正について ・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の一部改正及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律施行規則の一部改正について

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（2案件、2品目）

飼料添加物（1品目）	・サリノマイシンナトリウムの基準及び規格の改正について <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u>
薬剤耐性菌（1品目）	・家畜に使用するビコザマイシン <u>家畜にビコザマイシンを使用することにより選択された薬剤耐性菌が、食品を介してヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と判断。</u>
その他（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病予防法施行令及び同法施行規則の一部改正について <u>食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当。</u> ・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の一部改正及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律施行規則の一部改正について <u>食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当。</u>

6月：第782回（1回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（8品目）

農薬（5品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンヘキサミド ・カスガマイシン ・シフルメトフェン ・チエンカルバゾンメチル ・フェンブコナゾール
動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・チルジピロシン
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・JPAN005株を利用して生産されたペクチナーゼ ・EVG-L1株およびEVG-G1株を利用して生産されたグルタミルバリングリシン

（2）食品健康影響評価の結果通知案件等（7品目）

添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・炭酸カルシウム <u>炭酸カルシウムについて、通常の食事以外からのカルシウムの摂取量に関する上限値を2,000 mg/人/日（カルシウムとして）と設定。添加物「炭酸カルシウム」に係る規格基準の改正については、炭酸カルシウムが添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念はないと判断。</u>
農薬（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンヘキサミド <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u> ・フェンプロパトリン <u>ADIを0.027 mg/kg 体重/日、ARfDを0.03 mg/kg 体重と設定。</u> ・ピメトロジン <u>ADIを0.013 mg/kg 体重/日、ARfDを0.1 mg/kg 体重と設定。</u>
動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・チルジピロシン <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u>
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・Rhodobacter sphaeroides（ロドバクター・スフェロイデス）168株を利用して製造された香料バレンセン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u> ・JS1252株を利用して生産されたエキソマルトテトラオヒドラーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれ</u>

はないと判断。

(3) その他

- ・令和2年度食品健康影響評価技術研究追加公募課題の決定
- ・残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて報告
- ・令和元年食中毒発生状況の概要について厚生労働省から報告

2. 専門調査会等の運営（全22回（いずれもweb開催））

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度食品安全委員会運営状況報告書について 令和2年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件選定の進め方について 令和2年度食品安全委員会緊急時対応訓練について
添加物	2回	<ul style="list-style-type: none"> DL-酒石酸カリウム 亜硫酸水素アンモニウム水 キチングルカン
農薬第一	1回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員等紹介 専門調査会の運営等 座長の選出・座長代理の指名 農薬の食品健康影響評価に関する事項の調査審議における留意点について 残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
農薬第二	2回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員等紹介 専門調査会の運営等 座長の選出・座長代理の指名 チオキサザフェン
農薬第三	2回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員等紹介 専門調査会の運営等 座長の選出・座長代理の指名 1-メチルシクロプロペン エタボキサム プロクロラズ
農薬第四	2回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員等紹介 専門調査会の運営等 座長の選出・座長代理の指名 シフルトリン バリダマイシン
農薬第五	2回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員等紹介 専門調査会の運営等 座長の選出・座長代理の指名 チアジニル ベンゾベンジフルピル
動物用医薬品	2回	<ul style="list-style-type: none"> ジミナゼン ゼラノール 暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物 バイコックスアイアン注射液・トリトラズリル
器具・容器包装	1回	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員紹介 専門調査会の運営等 座長選出、座長代理の指名 食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針の改定（案）について
プリオン	1回	<ul style="list-style-type: none"> 専門調査会の運営等 ドイツ及びフィンランドから輸入される牛、めん羊及

		び山羊の肉及び内臓
遺伝子組換え食品等	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム ・ CF307株を利用して生産されたキシラナーゼ
新開発食品	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ トク牛サラシアプレミアム
肥料・飼料等	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物 ・ ピランテル
薬剤耐性菌WG	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 硫酸コリスチン、行動計画フォローアップ ・ 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画2016-2020の2019年度進捗状況の確認
評価技術企画WG	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ in silico評価手法に関連する研究事業の成果報告及び意見交換 ・ (Q)SARを活用した変異原性の評価について

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣（全1回、うち委員1回）

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
6/20 【延期 7/19】	東京都 (Web開 催)	食品安全講座 (テーマ：食品中に含まれるアク リルミドについて) * 吉田充委員	東京理科大学	薬剤師等

(2) 訪問学習（全1回）

開催日	内容	対象者	依頼者
6/30	・ 食品安全を守る仕組みの解説 ・ 化学物質の評価事例の紹介 ・ 意見交換 (Web開催)	学生	防衛医科大学

※意見交換会及び講座については開催なし。

4. 情報提供

Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 4月：12 記事

閲覧数 (Facebook) 約36,900件/月、(ブログ) 約1,600件/月

投稿日	記事内容
1	メルマガ【読み物版】食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針 【動画】ノロウイルスのリスクプロファイル
3	家庭での食中毒を予防しよう！（その2）
8	海外情報：スペイン食品安全栄養庁が、ガルシニアを原料とする食品サプリメント摂取のリスクに関する報告書を公表
10	【ストップ！食中毒】園芸用植物などの誤食
13	「健康食品で特定の感染症は予防できません！」
15	【用語集から】リスク評価
17	【ストップ！食中毒】煮込み料理で気をつけたいウエルシュ菌－前編－

20	【ストップ！食中毒】煮込み料理で気をつけたいウエルシュ菌－後編－
22	【海外情報】F A O及びW H Oが「COVID-19 と食品安全：食品事業に関するガイドランス」を公表
23	【ホームページ】新型コロナウイルス感染症と食品について
30	【編集後記（卯月）】テイクアウト増、気温上昇「食中毒注意」

■ 5月：13記事

閲覧数（Facebook）約50,400件/月、（ブログ）約2,900件/月

投稿日	記事内容
8	「作る方・買う方へ テイクアウト食品による食中毒予防のために」
14	気温上昇。宅配およびテイクアウト利用時の「食中毒予防」
15	【用語集から】リスクコミュニケーション
18	【動画】食品安全の基礎知識～微生物を中心に
20	【家庭で食中毒にならないために①】洗おう
22	【家庭で食中毒にならないために②】加熱しよう
26	【家庭で食中毒にならないために③】適切に保存しよう
	【ストップ！食中毒】食中毒報告が多い寄生虫、アニサキス
27	【食中毒注意！】有毒植物は、絶対に採らない、食べない、売らない、人にあげない
	【リスク評価の紹介】かび毒デオキシニバレノールの再評価（2019年12月）
29	【キッズボックス】食べものを安全に食べるために（2020年5月号）
	【食中毒の発生予防】長期間休業後に営業を再開する飲食店の方へ
	【編集後記（皐月）】器具・容器包装に関するリスク評価指針の紹介（2019年5月策定）

■ 6月：17記事

閲覧数：(Facebook) 約40,000件/月、(ブログ) 約3,500件/月

投稿日	記事内容
3	「開封したミックス粉は冷蔵庫に保存しよう」
5	【食中毒の発生予防】屋外で弁当や総菜を販売する方へ
10	【用語集から】毒性及び毒性試験
11	【リスク評価指針の紹介】食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針（2019年10月策定）
12	食品安全委員会の議論の様子をライブ配信しています
15	知って防ごう！カンピロバクター食中毒（第1回：発生状況と症状）
16	【アンケート調査結果公表】食品の安全性に関する意識等について
17	知って防ごう！カンピロバクター食中毒（第2回：細菌の特徴）
18	【いわゆる健康食品】素材の管理強化
	【KIDS BOX】動画「毒のある身近な植物」
19	【お母さんになるあなたへ】
22	【KIDS BOX】動画「食べ物の安全を守るために」
23	【KIDS BOX】動画「食べ物の安全は量の問題」
25	【有毒植物による食中毒】スイセンの誤食に注意してください！
26	知って防ごう！カンピロバクター食中毒（第3回：原因食品）
29	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 8, No. 2を公開しました
	Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan Volume 8, Number 2 has just been published

食品健康影響評価の審議状況

(令和2年6月30日現在)

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和2年度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和2年 度分	評価終了 注5)
添加物	295		7		288	1	
栄養成分添加物	2		1		1		
香料	7				7		
農薬	1247	5	155	5	1087	6	
うちポジティブリスト関係	543		141	1	401	2	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		19		40	1	
動物用医薬品	627	2	34	1	592	1	
うちポジティブリスト関係	137		32	1	104		
器具・容器包装	21		3		18		
汚染物質等	67		1		66		3
うち清涼飲料水	52		1		51		
微生物・ウイルス	20		1		19		2
プリオン	66	1	11		55		14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	324	7	20		304	2	
新開発食品	91		1		90		1
肥料・飼料等	303	1	59		244	1	
うちポジティブリスト関係	143		51		92		
薬剤耐性菌	68		10		58	2	1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
その他(指定成分、アルミニウム)	2				2		1
合計	3153	16	303	6	2844	13	27

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
 3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
 4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
 5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。なお、現在審議中の案件は「食品及び器具・容器包装中の鉛」、「アレルギーを含む食品」、「硫酸コリスチン(薬剤耐性菌)」である。
 6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
 7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2020年6月30日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/7/3	厚	清涼飲料水の規格基準を改正すること（汚染物質1物質）	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（亜鉛バシトラシン、スルファキノキサリン、スルフォンアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質、マクロライド系抗生物質）	5
2004/10/29	農	動物用医薬品 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ピクシリン）[肥][耐]、動物用医薬品 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）[耐]	3
2005/2/14	厚	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）[肥]、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用））[耐]	2
2005/9/13	厚	動物用医薬品 アンピシリンナトリウム[肥]、スルファメトキサゾール[肥]、トリメトプリム[肥]	3
2006/7/18	厚	動物用医薬品 アンピシリン☆[肥]、スルファメトキサゾール☆[肥]、トリメトプリム☆[肥]	3
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆、	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/15	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/1/15	厚	動物用医薬品 クマホス☆	1
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン、スルフイソゾール	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/6	厚	動物用医薬品 イソオイゲノール☆、イソシンコメロン酸二プロピル☆	2
2007/3/20	厚	動物用医薬品 スルファチアゾール☆[肥]、スルファジメトキシ☆[肥]、スルファモメトキシ☆[肥]	3
2007/5/22	厚	動物用医薬品 フェノキシメチルペニシリン☆[肥]	1
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/8/28	厚	動物用医薬品 ジクロキサシリン☆[肥]	1
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン<一部☆>	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロ、ピリデート、フッ化スルフル	4
2008/4/17	自ら	器具・容器包装 食品及び器具・容器包装中の鉛に関する食品健康影響評価の実施について◎	1
2008/6/3	厚	動物用医薬品 トビシリン[肥]	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	厚	器具・容器包装 カドミウム、鉛	2
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/10	厚	動物用医薬品 ピランテル☆[肥]	1
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆、フェナミホス☆	2
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2009/12/14	厚	農薬 フラザスルフロン☆	1
2010/2/16	厚	動物用医薬品 クロキサシリン☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆[肥]、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]、β-カロテン☆[肥]、クエン酸☆[肥]、酒石酸☆[肥]、トウガラシ色素☆[肥]、乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]、マリーゴールド色素☆[肥]、メナジオン☆[肥]、レチノール☆[肥]	11
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/3/23	厚	農薬 ベンタゾン☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/6/22	農	農薬 ベンタゾン☆〈飼〉	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビンクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆<一部〈飼〉>	3
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/1/24	厚	動物用医薬品 セフロキシム☆[肥]	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルファン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロメチル☆、ジスルホトン☆、プロモキシニル☆	3
2011/3/25	厚	動物用医薬品 ジミナゼン☆	1
2011/4/19	厚	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/6/10	厚	農薬 フェナリモル☆	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロメチル☆	11
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し(オランダ)	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	厚	動物用医薬品 スルファジミジン☆[肥]	1
2012/2/24	厚	動物用医薬品 イソメタミジウム☆	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 ホスタアゼート■<一部☆>、テフルトリン☆	2
2012/7/18	厚	動物用医薬品 バシトラシン☆[肥]	1
2012/8/21	農	農薬 シフルトリン☆〈飼〉	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/8/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン☆	2
2012/8/21	厚	動物用医薬品 カルバドックス☆[肥]	1
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、イプロジオン☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	13
2013/3/12	厚	動物用医薬品 ハロフジノン☆[肥]	1
2013/3/12	農	農薬 ピリミホスメチル	1
2013/4/2	厚	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、パラコート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	4
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、パラコート☆、フルキンコナゾール☆	7
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニユロン☆	8
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2013/8/20	厚	飼料添加物 ジブチルヒドロキシトルエン 〈飼〉 ☆	1
2013/12/10	厚	動物用医薬品 ナイカルバジン☆[肥]	1
2014/3/25	厚	動物用医薬品 ゼラノール☆、マデュラマイシン☆[肥]、ロベニジン☆[肥]	3
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/1/8	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/3/30	厚	プリオン デンマークから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2016/3/23	厚	農薬 バリダマイシン■〈一部☆〉	2
2016/9/8	厚	プリオン オーストリアから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IPI05B-1）（食品）■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IPI05B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/1/10	厚	添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2019/2/20	厚	動物用医薬品 ジクロロイソシアヌル酸☆	1
2019/2/27	農	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）[耐]	1
2019/3/19	厚	プリオン スペインから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2019/5/22	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo003株を利用して生産されたリパーゼ■	1
2019/9/5	厚	農薬 ベンタゾン	1
2019/9/5	厚	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン	1
2019/9/5	厚	飼料添加物 ジブチルヒドロキシトルエン [肥]	1
2019/9/26	厚	遺伝子組換え食品等 ZGL株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ	1
2019/10/9	厚	添加物 L-酒石酸カリウム、DL-酒石酸カリウム、メタ酒石酸、	3
2019/10/10	厚	微生物・ウイルス 乳等省令に係る調製粉乳の審査事項について（育児用ミルク）	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム	2
2019/10/24	消	新開発食品 トク牛サラシアプレミアム	1
2019/11/28	厚	遺伝子組換え食品等 CF307株を利用して生産されたキシラナーゼ、JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ	2
2019/12/11	農	肥料・飼料等 ムラミダーゼ	1
2019/12/12	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ、JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ	2
2020/1/28	厚	遺伝子組換え食品等 Morph TG#626株を利用して生産された α -グルコシダーゼ	1
2020/2/4	自ら	薬剤耐性菌 硫酸コリスチン◎	1
2020/2/13	厚	農薬 チアジニル、ベンゾビンジフルピル■	2
2020/2/13	厚	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/2/19	厚	添加物 亜硫酸水素アンモニウム水、キチングルカン、ポリビニルイミダゾール-ポリビニルピロリドン共重合体	3
2020/2/26	農	動物用医薬品 グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤（バイコックス アイアン注射液）■	1
2020/2/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPBL004株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、JPBL005株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	2
2020/3/17	厚	動物用医薬品 塩化ジデシルジメチルアンモニウム☆、オイゲノール☆、オキシクロザニド☆、オルトジクロロベンゼン☆、グリカルピラミド☆、クロステボル☆、クロルヘキシジン☆、ジブチルサクシネート☆、チオプロニン☆、トリブロムサラン☆、ニタルソン☆、ニトロキシニル☆、ノルジェストメット☆、ヒドロコルチゾン☆、マホプラジン☆、メンブトン☆	16
2020/3/17	厚	飼料添加物 オルメトプリム☆、酢酸イソ吉草酸タイロシン☆、ジアベリジン☆、スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダブソン☆、デコキネート☆、ナフシリン☆、ニフルスチレン酸ナトリウム☆、バージニアマイシン☆、プリメタミン☆、メシリナム☆、ロキサソロン☆、アンプロリウム☆、エトパベート☆、スルファキノキサリン☆、エンラマイシン☆、カンタキサンチン☆	19
2020/4/15	農	動物用医薬品 鶏伝染性ファブリキウス嚢病・マレック病（鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス由来VP2遺伝子導入七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（バキシテックHVT+IBD）	1
2020/3/31	農	遺伝子組換え食品等 JPTR003株を利用して生産されたムラミダーゼ、ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモ SPS-00X17-5（飼料）	2
2020/4/27	厚	遺伝子組換え食品等 ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモ SPS-00X17-5（食品）	1
2020/5/12	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN003株を利用して生産されたグルコアミラーゼ、JPAN007株を利用して生産されたヘミセルラーゼ	2
2020/5/13	厚	プリオン 「ドイツ・フィンランドから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2020/5/26	厚	遺伝子組換え食品等 JAPAN005株を利用して生産されたペクチナーゼ、EVG-L1株およびEVG-G1株を利用して生産されたグルタミルバリルグリシン	2
2020/6/11	厚	農薬カスガマイシン、シフルメトフェン、チエンカルバゾンメチル、フェンブコナゾール	4

(注)

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。